

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	空家等対策推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	都市計画総務費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 都市政策課	総合戦略	①2-(3)
		分業別計画	大東市空家等対策計画

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源	2,900,470	非常勤職員報酬		377,000				
	国補助		事務業務委託料		3,718,000				
	府補助		使用料及び賃借料		25,470				
	市債		その他団体補助金		500,000				
	その他	3,718,000	個人補助金		1,998,000				
	合計	6,618,470							
人件費	正職員	1人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	8,602,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	市内空家等の流通・利活用を推進する		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接地等取得費補助事業 ・空家リフォーム補助事業 ・専門家による相談会 など 	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大東市空家等対策計画に位置付けている施策を実施する ・三世大家族推進事業と関連付けて実施することにより空家等の利活用を推進する 		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接地等取得費補助、空家リフォーム補助を継続 ・大東市空家等対策協議会 ・子育て世代向けの空家リフォーム補助を新設 	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	補助金の申込件数	成果	R3	リフォーム補助 5 件/リフォーム補助(子育て世代)3 件/隣接地等取得費補助 8 件	リフォーム補助 1 件/リフォーム補助(子育て世代)1 件/隣接地等取得費補助 3 件

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	多様な暮らし方を支援する住まい、まちづくりを推進する	利活用を促進することにより空家等の数を減らす	
結果	空家の有効活用を支援し、空家の解消又は狭小な住宅地を解消し、良好な住環境の形成に寄与することができた		補助制度に関する広報活動(広報誌への掲載)により引き続き制度利用を促す	

令和3年度【街づくり分科会B】

事業名	まちづくり調査検討事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	都市計画総務費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 都市政策課	総合戦略	①2-(1)、①2-(4)
		分野別計画	大東市都市計画マスタープラン

事業費	決算額(円)				決算内訳(円)					
	一般財源	1,586,000			非常勤職員報酬 事務業務委託料	350,000				
	国補助					9,900,000				
	府補助									
	市債									
	その他	8,664,000								
	合計	10,250,000								
人件費	正職員	2.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	21,506,000円	

内容	全体の事業計画				R3年度の事業計画			
	R2~R3	都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン改訂			・都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン計画策定			
	R3~	水路跡地総合的利用計画改訂			・水路跡地総合的利用計画 計画策定案の検討			
	R3~	連続立体交差事業基本構想策定			・連続立体交差事業 基本構想策定			
	R3~	東部山地部の活性化に向けた調査			・東部山地部の活性化基礎調査			
	全体のスケジュール				R3年度のスケジュール			
	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン・住宅マスタープラン改訂 <ul style="list-style-type: none"> R2 アンケート調査、将来目標の設定、基本方針作成等 R3 全体構想、地域別構想の策定、施策展開の検討、パブリックコメント 水路跡地総合利用計画 <ul style="list-style-type: none"> R3 計画案の検討 連続立体交差事業基本構想策定 <ul style="list-style-type: none"> R3 現況調査、鉄道高架化案比較検討 R4 都市計画検討、鉄道高架の平面・縦断検討 R5 鉄道高架の切換計画・概算工事費、事業効果 東部山地部の活性化に向けた調査 <ul style="list-style-type: none"> R3 東部山地部の活性化基礎調査 R4 調査結果を踏まえた検証 				<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン <ul style="list-style-type: none"> 全体構想、地域別構想(案)の策定 住宅マスタープラン <ul style="list-style-type: none"> 計画(案)の策定 水路跡地総合利用計画 <ul style="list-style-type: none"> 計画案の検討 連続立体交差事業基本構想策定 <ul style="list-style-type: none"> 現況調査、鉄道高架化案比較検討 東部山地部の活性化に向けた調査 <ul style="list-style-type: none"> 東部山地部の活性化基礎調査 			

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	計画策定の進捗	活動	R3	100%	75%
	【連立】現況把握等 (現況調査、鉄道高架化案比較)	活動	R3	100%	100%
	東部山地部の活性化に向けた現況把握等	活動	R3	100%	100%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)			事業レベル(ミクロ的な視点)		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに関する基本的な方針を示し、都市機能の強化、良好な都市空間の形成を図る 【連立】連続立体交差事業について基本構想を策定する 【東部山地部】飯盛城の史跡指定にあわせ、東部山地部の地域活性化の可能性を探る 			<ul style="list-style-type: none"> 計画を定期的に見直すことにより、社会情勢の変化や、市民ニーズの多様化に対応する 【連立】基本構想策定に向けて調査を行う 【東部山地部】先進事例等の調査、研究により東部山間部活性化に向けた基本構想策定の検討を行う 	
結果	<ul style="list-style-type: none"> 良好な都市空間の形成に資する、まちづくりに関する基本的な方針(案)を作成した 【連立】課題等を整理し、高架案を検討した 【東部山地部】東部山地部の活性化案を策定した 			<ul style="list-style-type: none"> 市民会議、都市計画審議会等の意見を反映した基本方針(案)を作成した 【連立】課題等に基づき、複数の高架方式による高架化の可能性検討を実施した 【東部山地部】現地調査や先進事例を調査し、地域活性化に向けた構想案を作成した 		

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	都市計画総務費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 都市政策課	総合戦略	①1-(2)
		分野別計画	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源	9,434,728	印刷製本費				440,000		
	国補助	9,733,000	使用料及び賃借料				8,820		
	府補助	310,000	個人補助金				19,028,908		
	市債								
	その他								
	合計	19,477,728							
人件費	正職員	1人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	8,602,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、住宅等の耐震化を推進し、安全・安心な生活環境を創造する		<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断、耐震設計・改修補助 地震ハザードマップの全戸配布 	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	平成28年度から令和7年度までの10年間		<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断、耐震設計・改修補助を継続 地震ハザードマップを全戸に配布し、普及啓発を実施(8月) 	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	補助の申込件数	成果	R3	診断50戸、設計10戸、改修15戸、除却30戸	診断15戸、設計1戸、改修1戸、除却56戸

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	建築物の耐震化の促進を図る	補助制度の普及啓発を促進し、申込件数の増加を図る	
	結果	建築物の耐震化を促進した	建築物の耐震化及び老朽化した建築物の除却を考える所有者に対して補助を実施することができた	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	三世代家族推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	都市計画総務費
所属(部等) <small>(室・課・グループ)</small>	都市整備部 都市政策室 都市政策課	総合戦略	①2-(3)、①5-(1)
		分野別計画	大東市住宅マスタープラン

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源	10,955,530	個人補助金				10,955,530		
	国補助								
	府補助								
	市債								
	その他								
	合計	10,955,530							
人件費	正職員	1人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	8,602,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	三世代の同居・近居を支援することにより、親子が相互に支え合い、安心して暮らすことができるよう支援する		三世代の市内居住を目的とした子世帯の住宅の新築、購入に要する費用を補助する	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	H27 制度施行 H28.11 距離要件の緩和及び市内転居の追加 H30.10 親世帯の市外からの転入を追加 R3.3 新制度の実施		制度の改正により、子育て世帯の一層の流入を促進する	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	補助利用件数	成果	R3	35件	41件

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	本市への転入・定住促進	補助制度をPRし、申込件数の増加を図る	
結果	人口流入・定住促進を図ることができた		特に新制度の実施により、若い世代の転入・住宅取得を後押しできた	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	景観形成推進事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	都市計画総務費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 都市政策課	総合戦略	①2-(4)
		分野別計画	大東市景観計画

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)					
	一般財源	132,000		非常勤職員報酬 報償金 事務業務委託料				75,000	
	国補助	1,480,000			57,000				
	府補助				2,960,000				
	市債								
	その他	1,480,000							
	合計	3,092,000							
人件費	正職員	1人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	8,602,000円

内容	全体の事業計画			R3年度の事業計画		
	本市が有する特性を活かし、良好な景観形成を推進する			R3.4 景観アドバイザー制度施行		
	全体のスケジュール			R3年度のスケジュール		
	H31.4 景観行政団体へ移行 R2.1 景観計画・景観条例施行 R3.4. 景観アドバイザー制度施行			<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画、景観ガイドラインに沿ったまちづくりの推進(アドバイザー会議の開始) ・景観重点地区の地元協議の継続 ・街なみ環境整備事業の概略検討 		

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	重点地区指定に向けての街なみ環境整備事業整備計画の概略案を作成する	活動	R3	100%	100%
	「景観に配慮したまち」に対する市民満足度	成果	R7	54%	30%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)			事業レベル(ミクロ的な視点)		
	目的	自然景観の保全に努めるとともに、調和のとれた魅力とうるおいのある都市景観を形成する			景観形成基準を定め、良好な景観形成を誘導する	
結果	御領地区の重点地区指定に向けた計画(案)を作成した			<ul style="list-style-type: none"> ・景観条例、景観形成基準に沿った届出事務の実施 ・景観アドバイザー会議の実施 ・御領地区地元説明会の継続 		

令和3年度【街づくり分科会B】

事業名	地域公共交通事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りよう費
		目	交通安全対策費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 交通政策課	総合戦略	①2-(4)
		分業別計画	大東市公共交通基本計画

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)					
	一般財源	84,806,104		非常勤職員報酬			83,500		
	国補助	2,475,000		消耗品費			14,190		
	府補助			事務業務委託料			4,950,000		
	市債			使用料及び賃借料			3,500		
	その他	6,611,000		その他負担金			66,879,022		
	合計	93,892,104		その他団体補助金			21,961,892		
人件費	正職員	2.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	21,506,000円

内容	全体の事業計画			R3年度の事業計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通(コミュニティバス等)の運行 基本計画に基づいた市内公共交通の運行方法の検討 			市内の東部地域や西部地域の交通体系の検討		
	全体のスケジュール			R3年度のスケジュール		
	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通運行事業の見直し 計画に基づく取組事業の実施や検討 			<ul style="list-style-type: none"> 東部地域乗合タクシー事業等の運行見直し検討 公共交通利用情報サイトのホームページ作成(2月) アンケート調査(随時) 地域公共交通会議の開催(3月) 		

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	コミュニティバス利用客数	成果	R3	143,700人	145,191人
	乗合タクシー利用客数	成果	R3	3,200人	2,660人

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> 交通利便性の確保 公共交通体系の適正化・効率化 	基本計画に基づき、既存の公共交通について、地域公共交通会議で協議を行いつつ、地域の実情に沿った公共交通体系の検討などを実施する	
結果	公共交通の実施により、市民の利便性向上が図れた		アンケート結果を基に、東部地域乗合タクシー等の継続した運行が行えるようルート改編案等を作成した	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	放置自転車対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りよう費
		目	自転車対策費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 交通政策課	総合戦略	
		分野別計画	

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)					
	一般財源	26,214,246		事務業務委託料			27,939,246		
	国補助								
	府補助								
	市債								
	その他	1,725,000							
	合計	27,939,246							
人件費	正職員	0.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	1人	6,695,000円

内容	全体の事業計画			R3年度の事業計画		
	JR3 駅(住道・野崎・四条畷)周辺の自転車等放置禁止区域内において、放置自転車の啓発・移送・保管返還を行う			同左		
	全体のスケジュール			R3年度のスケジュール		
	・街頭啓発業務	JR3 駅周辺で実施		・街頭啓発業務 住道駅周辺 年 124 日 野崎・四条畷駅周辺 年 123 日		
・移送業務	JR3 駅周辺で実施		・移送業務 住道駅周辺 年 124 日 野崎・四条畷駅周辺 年 123 日			
・保管返還業務	JR3 駅周辺で実施		・保管返還業務 住道駅・野崎駅の保管所 年 295 日			

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	放置自転車撤去台数の減少	活動	R3	1,320 台	1,137 台
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	歩行者の安全とまちの景観を守り、誰もが安全安心で暮らせるまちづくりを目指す	街頭啓発・移送業務・保管返還業務をより効率的に実施する	
	結果	放置禁止区域内における歩行者の安全とまちの景観に改善傾向が見られた	放置自転車の撤去を実施し、駅前広場等の通行環境が改善できた	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	がけ地近接等危険住宅移転補助事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	都市計画総務費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市政策室 開発指導課	総合戦略	①1-(2)
		分野別計画	

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源								
	国補助								
	府補助								
	市債								
	その他								
	合計	0							
人件費	正職員	0.2人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	1,720,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	がけ地の崩落等により、住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に存する住宅の移転を促進し、安全・安心なまちづくりを推進する		土砂災害特別警戒区域内に存する住宅の移転及び除却工事に対して補助を行う	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	がけ地近接等危険住宅移転補助要綱により、土砂災害特別警戒区域内に存する住宅の移転を促進する		<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の申込受付開始(4月～) ・市民課モニターなどによる広報活動 	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	補助対象家屋所有者への広報	活動	R3	100%	100%
	補助の申込件数	成果	R3	1件	0件

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に存する住宅の移転の促進	補助制度をPRし、申込件数の増加を図る	
	結果	周知活動により住宅移転の意識醸成に寄与した	周知活動後、申込みまでは至らなかったが、窓口相談があるなど、補助制度の認知につながった	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りよう費
		目	道路維持費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 道路課	総合戦略	①1-(3)
		分業別計画	大東市都市計画マスタープラン

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源	20,181,400	事務業務委託料					15,323,000	
	国補助	96,107,000	新設改良工事請負費(国)		[緑越明許]			120,071,400	
	府補助		事務業務委託料					4,626,600	
	市債	66,000,000	設計委託料(資産)					5,378,000	
	その他	6,634,000	新設改良工事請負費(国)					43,523,400	
	合計	188,922,400							
人件費	正職員	1.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	12,903,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁長寿命化 ・橋梁点検 ・市道の適切な維持管理 		<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(御供田新橋及び松の鼻橋)の補修工事 ・橋梁(緑地大橋及び深北大橋)の点検 ・市道の点検及び長寿命化計画の策定 	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内重要橋梁の維持修繕を実施 ・市管理橋梁の点検(5年以内に1回) ・市道(1・2級路線)の点検及び長寿命化計画の策定 		<ul style="list-style-type: none"> 会所橋他2橋、木田橋補修完了(5月) 松の鼻橋調査・設計業務完了(6月) 橋梁定期点検調査業務完了(2月) 路面性状調査及び個別施設計画策定、御供田新橋補修完了(3月) 松の鼻橋補修工事(緑越) 	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	単年度達成率(事業費ベース)	活動	R3	100%	88%
	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	R7	54%	35.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	橋梁の経済的な管理を計画的に実施するために、事後的な架け替えよりも予防的な修繕によるコストの圧縮を行う。市道(1・2級路線)の点検を行い、長寿命化修繕計画を策定することにより、適切な維持管理を行う	道路網の安全と安心の確保	
	結果	橋梁の経済的な管理を計画的に実施することで修繕によるコスト圧縮や、市道の長寿命化修繕計画を策定することにより適切な維持管理に寄与した	道路及び橋梁の補修工事を行うことにより、道路網の安全と安心の確保に寄与した	

令和3年度【街づくり分科会B】

事業名	道路新設改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
		目	道路新設改良費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 道路課	総合戦略	①2-(4)
		分業別計画	大東市都市計画マスタープラン

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源	29,641,370	事務業務委託料		1,042,470				
	国補助		測量ボーリング委託料(費用)		1,989,900				
	府補助		設計委託料(費用)		8,521,700				
	市債		使用料及び賃借料		8,800				
	その他	7,432,700	新設改良工事請負費(単 [線越明許])		18,078,500				
	合計	37,074,070	新設改良工事請負費(単)		7,432,700				
人件費	正職員	1.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	12,903,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	歩行者や車両等の円滑な通行と安全確保のため、現道拡幅や歩道・交差点改良等の実施		市道の改良に必要となる用地取得、設計委託及び道路拡幅工事等の実施	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	・歩道の拡幅・段差の解消等のバリアフリー化工事や狭小な道路の拡幅工事、交差点改良等の実施 ・市道の改良に必要となる用地の取得		住道四の宮線道路改良工事完了(6月) 片町線附属街路南側1号線歩道改良工事完了(8月) 住道停車場線舗装工事完了(2月) 中垣内浜公園前線道路整備に伴う物件調査等業務完了(3月) 福島太子田線予備設計業務委託完了(3月)	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	単年度達成率(事業費ベース)	活動	R3	100%	67%
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	道路環境の改善	・安全・安心な道路機能の向上 ・防災拠点へのアクセス性向上	
結果	既存道路を改修等することにより、道路環境の改善に寄与した		歩道整備やバリアフリー化を行うことにより、既存道路の安全・安心の向上及び防災拠点へのアクセス向上に寄与した	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	北条踏切改良事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りょう費
		目	道路新設改良費
所属(部等) <small>(室・課・グループ)</small>	都市整備部 都市整備室 道路課	総合戦略	①2-(4)
		分野別計画	大東市都市計画マスタープラン

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源								
	国補助								
	府補助								
	市債								
	その他								
	合計	0							
人件費	正職員	0.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	4,301,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	北条踏切及び前後道路を拡幅し、歩道を新設して通行の安全を確保する		事業予定地の用地取得に係る境界確定等を行う	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉 ・道路工事 ・踏切内工事 		用地交渉	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	事業進捗率	活動	R5	100%	28%
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	歩行者等の通行の安全確保及び利便性向上	踏切及び前後道路の拡幅	
	結果	用地取得に向け、地権者と交渉中	用地取得に向け、地権者と交渉中	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	東部地域道路整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	道路橋りよう費
		目	道路新設改良費
所属(部等) <small>(室・課・グループ)</small>	都市整備部 都市整備室 道路課	総合戦略	①1-(3)、①2-(4)
		分野別計画	大東市都市計画マスタープラン

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)					
	一般財源	485,210		測量ボーリング委託料(費用)			485,210		
	国補助								
	府補助								
	市債								
	その他								
	合計	485,210							
人件費	正職員	0.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	4,301,000円

内容	全体の事業計画			R3年度の事業計画		
	狭小な道路や南北通行へのアクセスを改善することにより、東部地域全体の利便性向上を図る			新規事業箇所の土地調査等を行う		
	全体のスケジュール			R3年度のスケジュール		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の車道及び歩道の改良 ・交差点部の歩道段差等の改良 ・円滑な通行と安全確保のための現道拡幅 			道路整備事業に伴う土地調査完了(11月)		

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	単年度達成率(事業費ベース)	活動	R3	100%	50%
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)			事業レベル(ミクロ的な視点)		
	目的	道路環境の改善		<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な道路機能の向上 ・東部地域の防災性及び利便性の向上 		
結果	既存道路の改修等を目的とした土地調査を行うことにより、道路環境の改善に寄与した			道路拡幅を目的とした土地調査を行うことにより、既存道路の安全・安心の向上及び東部地域の利便性向上に寄与した		

令和3年度【街づくり分科会B】

事業名	深野北谷川線新設事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	深野北谷川線新設費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 道路課	総合戦略	①1-(3)、①2-(4)
		分野別計画	大東市都市計画マスタープラン

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)					
	一般財源	10,048,804			事務業務委託料	5,586,570			
	国補助	10,756,000			測量ボーリング委託料(費用)	1,398,276			
	府補助				鑑定委託料	1,449,800			
	市債	46,300,000			設計委託料(費用)	495,000			
	その他	5,207,000			新設改良工事請負費(単 [線越明許])	1,118,700			
	合計	72,311,804			国・土地購入費	37,322,058			
				国・建設事業補償金	24,941,400				
人件費	正職員	1.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	12,903,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	本市の南北を結ぶ幹線道路として、また広域避難地である大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路深野北谷川線の整備を行う		①事業予定地の用地取得に係る土地鑑定、補償算定を行う ②旧権現川接続部の整備工事を行う	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	①大阪生駒線～大東中央公園区間 道路詳細設計(H29～H30)、土地鑑定・補償算定・物件補償・用地買収(R1～R3)、道路工事(R4～R6) ②旧権現川接続部 土地境界確定(H29)、都市計画変更、道路詳細設計(H30)、道路工事(R3)		①土地鑑定完了 補償算定完了 土地売買契約完了(4件) 建物移転補償契約完了(4件) ②整備工事(線越)	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	事業進捗率(事業費ベース)	活動	R6	100%	12%
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	道路環境の改善	・安全・安心な道路機能の向上 ・防災拠点へのアクセス向上	
	結果	都市の防災性の向上及び道路環境の改善に向け、事業実施中	安全・安心な道路機能の向上、防災拠点へのアクセス向上に向け、事業実施中	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	都市公園再整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	公園管理費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部	総合戦略	①2-(4)、①5-(4)
	都市整備室 みどり課	分野別計画	大東市緑の基本計画

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)						
	一般財源	5,093,400			設計委託料(資産)		4,582,600			
	国補助				設計委託料(費用)		2,420,000			
	府補助				維持補修工事請負費(資産)		113,795,800			
	市債									
	その他	115,705,000								
	合計	120,798,400								
人件費	正職員	2人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	17,205,000円	

内容	全体の事業計画			R3年度の事業計画		
	供用開始後約20年を経過した都市公園についてリニューアルを図り、地域のニーズに応じた特色ある公園づくりを目指す			<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等遊具撤去更新工事 ・都市公園基本設計業務委託 		
	全体のスケジュール			R3年度のスケジュール		
	R3:都市公園等遊具撤去更新工事 R3~12:再整備事業設計及び工事を順次実施			【都市公園等遊具撤去更新その1工事】 ~R4.3 工事完了 【都市公園基本設計業務委託】R4.3 業務完了		

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	再整備の公園数(45公園)	活動	R13	15公園	0公園
	「公園整備が充実したまち」に対する市民満足度	成果	R7	62%	45.2%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	特色ある公園づくり	地域のニーズに応じた公園施設整備を図る	
	結果	老朽化した公園の再整備を進めた	魅力ある公園・施設整備を行うため、明美の里公園基本設計業務を完了した	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	花と緑のまつり事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	緑化推進費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 みどり課	総合戦略	
		分野別計画	

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源								
	国補助								
	府補助								
	市債								
	その他								
	合計	0							
人件費	正職員	人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	0円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	「花と緑のまつり」を通じて都市緑化に関する市民の意識高揚を図る		第35回大東市花と緑のまつりを開催する	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	第35回大東市花と緑のまつりの開催(R3)		まつりの中止	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	関係団体や自治会等へのPR (対象校区内の小・中学校、全自治会ヘリーフレット等の送付)	活動	R3	100%	中止
	延べ参加人数	成果	R3	6,000人	中止

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	都市緑化の推進	市民の緑化意識の向上を図る	
結果	まつりの中止		まつりの中止	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	都市計画費
		目	野崎・四条畷駅周辺整備費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 駅周辺整備課	総合戦略	①2-(1)
		分野別計画	大東市都市計画に関する基本的な方針

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)								
	一般財源	293,335,389	普通旅費	39,200	【繰越明許】						
	国補助	500,577,000	消耗品費	77,216	設計委託料(資産)		37,566,100				
			光熱水費	8,710	新設改良工事請負費(単)		39,871,000				
	府補助		施設修繕料(費用)	66,000	単・土地購入費		5,784,240				
			手数料(費用)	345,865	国・建設事業補償金		105,357,300				
	市債	814,200,000	手数料(資産)	681,240	単・建設事業補償金		19,769,895				
			事務業務委託料	15,261,531	【事故繰越】						
その他		設計委託料(資産)	13,873,200	単・土地購入費		37,710,950					
		工事監理委託料	2,900,000	単・建設事業補償金		187,490,300					
合計	1,608,112,389	鑑定委託料	2,896,300								
人件費	正職員	5.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	1人	49,707,000円		

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	市東北部の振興を図るため、JR野崎駅・四条畷駅の周辺整備を行い、特色ある魅力的なまちづくりを推進する		野崎駅の橋上化及び立体駐輪場の整備、四条畷駅東側ペDESTリアンデッキ等の整備、事業用地の取得を推進する	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
整備期間は、令和4年度までを予定		【野崎駅周辺】		
【野崎駅周辺】		・野崎駅橋上化整備工事		
・駅前広場、自転車駐車場整備等		・立体駐輪場整備工事		
【四条畷駅周辺】		【四条畷駅周辺】		
・四条畷駅前東線の整備		・四条畷駅周辺事業用地取得		
・駅前広場、自転車駐車場整備等		・ペDESTリアンデッキ整備工事		

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	活動	R4	100%	62.6%
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	・特色ある魅力的な整備 ・駅周辺の利便性の向上 ・主要アクセス道路等の安全性向上	・野崎駅橋上化・立体駐輪場整備工事の推進 ・事業用地取得の推進	
	結果	特色ある魅力的な整備の推進	・野崎駅橋上化整備工事Ⅲ期工事開始 ・事業用地の一部取得	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	公共用地取得事業	区分	2 駅周辺整備事業特別会計
		款	公共用地取得事業費
		項	公共用地取得事業費
		目	公共用地取得事業費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 駅周辺整備課	総合戦略	①2-(1)
		分野別計画	大東市都市計画に関する基本的な方針

事業費	決算額(円)				決算内訳(円)					
	一般財源									
	国補助									
	府補助									
	市債									
	その他									
	合計		0							
人件費	正職員	0.5 人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	1 人	6,695,000 円	

内容	全体の事業計画				R3年度の事業計画			
	市東北部の振興を図るため、JR野崎駅・四条畷駅の周辺整備を行い、特色ある魅力的なまちづくりを推進する				四条畷駅周辺事業用地取得の推進を図るため、土地鑑定評価業務等を行い、用地購入及び物件補償を行う			
	全体のスケジュール				R3年度のスケジュール			
	整備期間は、令和4年度までを予定 【野崎駅周辺】 ・野崎駅橋上化整備工事 ・駅前広場、自転車駐車場整備等 【四条畷駅周辺】 ・四条畷駅前東線の整備 ・駅前広場、自転車駐車場整備等				四条畷駅周辺事業用地取得に伴う交渉業務			

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	活動	R4	100%	62.6%
	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	R7	32%	16.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)			事業レベル(ミクロ的な視点)		
	目的	・特色ある魅力的な整備 ・駅周辺の利便性の向上 ・主要アクセス道路等の安全性向上			事業用地取得の推進	
結果	特色ある魅力的な整備の推進			事業用地取得に向け交渉中		

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	都市浸水対策事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
		目	都市浸水対策費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 水政課	総合戦略	①1-(3)
		分野別計画	大東市地域防災計画

事業費	決算額(円)		決算内訳(円)						
	一般財源	4,208,400	新設改良工事請負費(国)		44,696,300				
	国補助	14,000,000	新設改良工事請負費(単)		11,012,100				
	府補助								
	市債	37,500,000							
	その他								
	合計	55,708,400							
人件費	正職員	0.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	人	4,301,000円

内容	全体の事業計画		R3年度の事業計画	
	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために効果的な雨水貯留施設等の整備を進める		住道南小学校校庭貯留浸透施設整備工事	
	全体のスケジュール		R3年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校の校庭に雨水貯留施設を整備する R19年度までに全20校について完成(R2年度末までに11校の整備が完了) 		住道南小学校校庭貯留浸透施設整備工事 6月 工事発注 9月 工事完了	

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	住道南小学校校庭貯留施設整備工事	活動	R3	100%	100%
	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	R7	54%	35.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強いまちづくり 治水安全度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な校庭貯留施設の整備 学校関係者との十分な協議と調整 	
	結果	治水安全度が向上し、災害に強いまちづくりに寄与できた	学校関係者と十分に協議・調整を行い、計画どおり校庭貯留施設を整備できた	

令和3年度 【街づくり分科会B】

事業名	水路整備事業	区分	一般会計
		款	土木費
		項	河川費
		目	河川改修費
所属(部等) (室・課・グループ)	都市整備部 都市整備室 水政課	総合戦略	①1-(3)
		分野別計画	大東市地域防災計画

事業費	決算額(円)			決算内訳(円)						
	一般財源	88,583,814		印刷製本費	17,950					
	国補助	10,000,000		手数料(費用)	195,525					
	府補助			設計委託料(資産)	1,438,800					
	市債	89,400,000		測量ホーリング委託料(費用)	984,500					
	その他	1,620,900		新設改良工事請負費(単)	92,692,600					
	合計	189,604,714		維持補修工事請負費(費用)	63,802,200					
人件費	正職員	0.5人	再任用職員	人	任期付職員	人	会計年度任用職員	0.5人	5,498,000円	

内容	全体の事業計画			R3年度の事業計画		
	環境改善と治水機能の向上を併せた水路整備を行い、市民の親しみと安全を確保できる水辺を創出する			設計委託	3件	
				水路整備工事	4件	
				灰塚地内水路整備に伴う補償	1件	
内容	全体のスケジュール			R3年度のスケジュール		
	新田水路整備工事(H29~R3) 灰塚水路整備工事(R1~R3)			5月 新田地内水路整備工事(第7期)完了		
			8月 新田本町他地内人道橋整備工事発注			
			9月 灰塚地内水路整備工事(第3期)発注			
			10月 新田地内水路整備工事(第8期)発注			
			3月 新田本町他地内人道橋整備工事完了			
			灰塚地内水路整備工事(第3期)完了			
			新田地内水路整備工事(第8期)完了			

指標	内容	指標区分	目標年次	目標	結果
	水路整備工事の推進(単年度延長比)	活動	R3	100%	100%
	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	R7	54%	35.6%

評価	施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
	目的	・治水機能の充実 ・水路環境の改善	・工事進捗を適正に管理する ・地元との連携を綿密に行う	
結果	治水安全度の向上、水路環境の改善に寄与した		地元協議を綿密に行ったことで、円滑に工事を進めることができた	